

2026年5月26日

各位

## 中外製薬、令和8年度全国発明表彰最高位の「恩賜発明賞」を受賞 ～リサイクリング抗体技術が、医薬品研究への貢献として評価～

- 中外製薬のリサイクリング抗体技術に関わる発明が、令和8年度全国発明表彰において最高位の「恩賜発明賞」を受賞
- 抗体医薬の薬効持続性向上と、それに伴う患者さんや医療関係者の負担軽減を可能にする基盤的技術として、医薬品研究および医療への貢献が、我が国の科学技術の振興、産業経済の発展に大きく貢献している発明等として評価されたもの
- 当社独自の創薬力と技術力が評価されたことを示す成果

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、公益社団法人発明協会が主催する令和8年度全国発明表彰において、当社独自の抗体エンジニアリング技術である「リサイクリング抗体技術」の発明が、最高位の賞である「恩賜発明賞」を受賞したことをお知らせいたします。

全国発明表彰は、皇室からの御下賜金を拝受して行われる、日本において歴史と権威のある発明表彰制度です。日本の科学技術の向上と産業の発展に寄与することを目的に、独創性に富む優れた発明が表彰されます。「恩賜発明賞」は、その中でも科学技術的に極めて優れた発明に授与されます。

当社として恩賜発明賞を初めて受賞し、中外製薬が長年にわたり取り組んできた独自の抗体エンジニアリング技術に関する研究および創薬基盤の強みが、発明表彰制度において評価されました。本発明は、抗体にpH依存的な抗原結合特性を付与することで、1つの抗体分子が抗原に繰り返し結合可能となり、抗体医薬の可能性の拡張および薬効持続性の向上を可能にする、リサイクリング抗体技術に関わるものです。

代表取締役社長 CEOの奥田 修は、「今般、当社のリサイクリング抗体技術の発明が、全国発明表彰において最高位の『恩賜発明賞』を受賞できたことを大変光栄に思います。長年にわたり当社独自の抗体エンジニアリング技術の開発に取り組んできた研究員の努力が、高く評価されたものと受け止めております。当社は、今後も世界最高水準の創薬力を磨き上げ、世界中の患者さんが『中外なら必ず新たな治療法を生み出してくれる』と期待する会社になれるよう、邁進してまいります」と語っています。

当社はこれまで、抗体医薬を中心とした革新的な医薬品の創出を通じて、アンメットメディカルニーズの解決に取り組んでまいりました。今後も独自の創薬技術研究を通じて、革新的な医薬品を継続的に創出し、患者さんと社会に新たな価値を提供してまいります。

## 受賞概要

受賞発明	リサイクリング機能を付与した抗体の作製技術の発明（特許第 4954326 号）
受賞者	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>恩賜発明賞</b>（対象発明の出願時点の所属） 中外製薬株式会社 井川 智之、前田 敦彦、中井 貴士、石井 慎也</li><li>● <b>発明実績功績賞</b> 中外製薬株式会社 代表取締役社長 CEO 奥田 修</li></ul>
受賞発明の内容	通常の抗体は抗原に一度しか結合できないという限界がありますが、本発明は、この限界を克服し、1つの抗体分子が複数回、標的に結合できる革新的な技術です。これにより、抗原量が多く従来の抗体医薬では治療が困難であった病気に対応可能になるとともに、少量の投与で治療を行えるため、点滴ではなく自宅での皮下投与が可能となり、また効果が長時間持続するため、投与頻度の低減が期待されます。患者さんの負担軽減や医療コストの削減にもつながる可能性があります。

以上